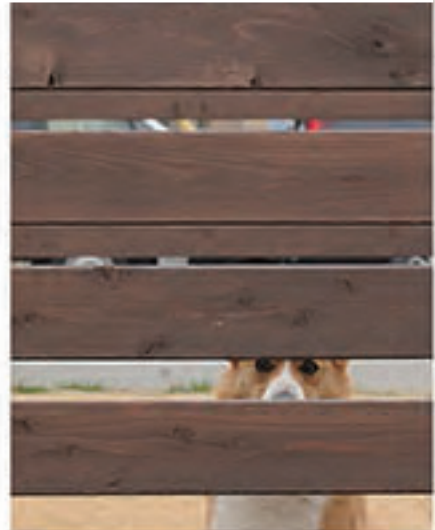


自然素材の木材でつくる

ナチュラル

&

モダンエクステリア



ウ
ツ
ド
フ
ェ
ン
ス
・
ウ
ツ
ド
デ
ツ
キ
を
楽
し
も
う

ENJOY!

WOOD
DECK
&

WOOD
FENCE



木材は、再生可能な 環境にやさしい資源

日本の国土は約70%が森林で、そのうち約40%が人工林です。この人工林がいま本格的な利用期を迎えています。二酸化炭素を吸収し炭素を固定する木材を、建築や外構等に利用することで、持続的に森林資源を活用でき、地球温暖化防止やSDGsに貢献します。国では、建築物での木材の利用を促進する法律改正をはじめ、さまざまな施策に取り組んでいます。



ウッド・チェンジとは

建築物を木造化・木質化する、身の周りのものを木に変える、木の暮らしに取り入れるなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。



詳細はこちらへ

自然素材の木材でつくる ウッドフェンス&デッキの いいところ

木材は、美しい家、
美しい街並みをつくる

木材を使った建築や外構は、「まちづくり」に調和する美しい景観を生み出します。木のフェンスやエクステリアは、安全な通学路の確保につながり、防音対策など生活環境の改善にも大きな効果があります。木材が持つ自然な色つやから感じる優しさや温もりは、街に住む人々に、美しい景観と安心をお届けします。

自由なデザインを可能にする

木材は、加工しやすい素材なので、ユニークな形にしたり、カラフルな色を塗ったりすることが可能です。狭い場所や複雑な形状の敷地の中でも、設計・施工がしやすく、高さも自由に調整できます。状況に合わせて、世界でただ一つのデザインの木のエクステリアも作ることが可能です。木のエクステリアを暮らしに取り入れましょう。



まだまだある木の魅力

木材は、断熱効果が高く、触ったときに冷たさや熱さを感じにくい素材です。また、木の香りに含まれている“フィトンチッド”は、除菌・抗菌、消臭、リラックス効果などの効果があります。さらに、木材を店舗等に用いることで、空間に付加価値を与え、愛着心を高める効果も期待できます。



木材の経年変化は、 天然素材の証

天然素材の木材は、時間とともに色やシルバーグレイに変化させていきます。一年中、日光や風雨にさらされる外構では、顕著に経年変化が起こります。海外では、このシルバーグレイは、落ち着いた色合いだと好まれます。使う人とともに年を重ねて変化していくのも木材の良さの一つです。

木と長くつきあうための メンテナンス

ウッドフェンス、ウッドデッキを長持ちさせるにはメンテナンスが不可欠です。日頃からこまめに掃除しましょう。また、湿気は腐朽の原因になるので植木鉢やプランターはときどき場所を変え、風通しをよくしてください。保護塗料は1~3年に1回ぐらい塗り直してください。



木のことを知れば、
より長く楽しむ

北海道の厳しい風雪に耐える
今村公園のウッドフェンス

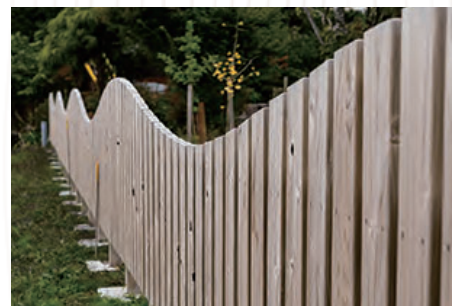
「 所在 | 北海道
 施設 | 公園
 設備 | ウッドフェンス
 施工 | 外山建設株式会社
 」



北海道、渡島半島の中央部に位置する瀬棚郡今金町の「今村公園」には、北海道産のスギを活用して建てられたユニークな形状のウッドフェンスが設置されています。完成してから2年、厳しい冬を越してきたウッドフェンスの現状を確かめました。

町の創始者の旧邸を地域の
人々が憩う公園に

今村公園は、この町の創始者の一人、今村藤次郎さんの旧邸の敷地を改修して公園にしたものです。今村公園再生プロジェクトの会の高橋さんに、ウッドフェンスをつくった理由をお聞きしました。「一番の理由は、木に親しんでもらいたいということです。道南エリアにはスギの人工林がありますが、地元の人でも道産材というエゾマツ、トドマツ、カラマツを思い浮かべ、スギがあることが知られていません。せっかく地域にスギという使いやすい木材があるのだから、こんな所にも使えるよ、とPRしたいと思いました」。塀に使った木材は、すべて今金・せたなエリアのスギ材で、製材業を営む高橋さんの会社で作ったものです。



風雪に耐える頑丈な構造

今金町は、内陸性気候のため夏は気温が30℃を超え、冬は季節風が強く、積雪は2mを超えます。厳しい気候条件に耐えるための工夫を新保さんにお聞きしました。「木材は、耐久性に優れたK4注入材です。竣工から2年以上経ちますが傷みも破損も見られません。通常よりも厚い24mmの板材を使い、支柱は10cm角の柱材です。塀を二重の構造にして、さらに筋交いを立てて補強し頑丈な造りにしています」。次にメンテナンスについてお聞きすると「今のところは何もしていません。しばらく様子を見て、必要があれば防腐塗料を塗布します」。



町でも注目を集めた
ユニークな形状のウッドフェンス

ウェーブ状のウッドフェンスを設計・施工した外山建設株式会社の新保力男さんにデザインの狙いをお聞きしました。「ウェーブ状のデザインにしたのは、自然景観とマッチさせようと考えたからです。あとは、塀で公園が隠れてしまわないように高低を付け、国道を通る人の目を惹くという狙いもありました。金属製だとこの形状にするのは難しいですが、木の塀なら現場で大工さんが図面に合わせて加工できます」。ユニークな形状のウッドフェンスは町内でも注目の的となり、多くの問い合わせが寄せられたそうです。



子どもたちが遊びながら
木の良さを知る場所に

旧邸宅は改修されて「今村記念館」として公開されています。その狙いを高橋さんにお聞きしました。「今村さんのお宅は、かつて町民や子どもたちが気軽に集える憩いの場所でした。子どもたちは、ここで町の歴史や自然の豊かさを学んでいたんです。もう一度、そんな場所をつくりたいと思いました。これからさまざまなイベントを企画して、子どもたちが遊びながら木の良さを感じてもらえる場所にしていきたいと思います」。今村公園は、町の歴史を知り、木の良さを感じる施設として、町の人たちに愛される場所になりそうです。

ウッドデッキ、ウッドフェンス
古民家になじむ
落ち着いた色合いに変化し



「 所在 | 長野県
施設 | 住宅（古民家）
設備 | ウッドフェンス、ウッドデッキ
施工 | HUCOS 協同建設
」

長野市松代町は、歴史的な街並みが残る真田十代十萬石の城下町です。地元で建設会社を営む齊藤洋一さんは、明治初期に建てられた古民家を十数年前に買い取り、リノベーションしながら住んでいます。古民家にマッチするウッドフェンス、ウッドデッキを数年前に新設しました。

建設業者こそ率先して
国産材を利活用していきたい

斎藤さんが木の外構をつくったのは3年前、「家のリノベーションも一段落したので、前から欲しいと思っていたデッキと木の塀をつくることにしました」。木材を採用した理由は、「林業は担い手も少なく苦しい状態が続いています。我々、建設業者が率先して国産材を使っていくべきだと思います。使用したのは、鉄肥（おび）杉の赤身（心材）を防腐・防蟻処理したJAS性能区分K4相当材です。鉄肥杉はもともと精油分が多く外構に向いています。耐久性のある材に防腐・防蟻処理を施したので無塗装で使い木肌の色をそのまま出すようにしました」。

竣工当時



特にメンテナンスは行わず、
経年変化を楽しむ

日頃のメンテナンスについてお聞きすると「メンテナンスは今まで特に何もしていません。木は経年変化をしていくのが魅力です。この古民家もそうですが、あえて塗装はせずに木の色のままにして、その変化を楽しんでいます。よくレザーの洋服に例えるのですが、おろしたばかりよりも着古したレザーの方が体になじむし、風合いもかっこよくなるでしょう。木も同じだと思います。だから早くいい色に変化しないかなど楽しみにしています。もちろん腐朽してしまうのは嫌なので設計、施工の段階でいろいろ工夫をしています」。

柱が直に土に触れないように工夫

ウッドフェンスをつくるときに工夫したポイントをお聞きしました。「塀の柱が土と直に触れないように、土留めのコンクリートにボルトで固定しています。土留めがない部分は、廃線になった鉄道の枕木を再利用して木の柱が土に接しないようにしました。また、水は木口の部分から浸み込むので塀の上部に笠木をつけています。あとは強風で倒れないように、板は段違いにして間隔を空けて風が通り抜けるようにしました。土に直に接しないようにし、水がたまって浸み込んだりしないように配慮すれば、木は長持ちすると思います」。



デッキ下は割栗石を敷いて防草対策

ウッドデッキをつくる際に配慮したポイントをお聞きすると「デッキの下に雑草が生えるのが嫌だったので防草シートを敷いた上に割栗石を敷き詰めました。また、野良猫がデッキの下に入りこまないよう幕板で囲っています。あとは塀と同じで、東柱が土と直に接しないよう、東石を使っています。設計で配慮したのは、材に無駄がでないようにすることです。なるべくロスがでないように配慮しながら美しく丈夫なものをつくる、それもデザインの大切なポイントだと思っています」。

※ 割栗石：「ぐり石」とも呼ばれ、岩石を人工的に拳より一回りほど大きなサイズに割って作られる石材のこと。

ウッドデッキは
家族やペットとの憩いの場

ウッドデッキを普段どのように活用されているのかお聞きしました。「庭仕事に疲れたとき一休みしたり、ペットと遊んだり、家族と七輪を持ち出して肉や魚を炙って食べたりするスペースになっています。設置してから気づいたのですが、ウッドデッキがあると太陽の照り返しが部屋の中まで届いて冬場は暖かくていいのですが、夏場は部屋が暑くなり過ぎます。そこで取り外しできるターフを設置しようと考えています」。斎藤さんのお宅のウッドデッキは、屋外にあるもう一つのリビングルームのように家族の憩いの場になっているようです。



はじめてのメンテナンス
ウッドフェンス&ウッドデッキ



「 所在 | 千葉県
施設 | 住宅
設備 | ウッドフェンス、ウッドデッキ
施工 | 株式会社 矢藤園
」

川島さん(仮名)が大規模な庭のリニューアルをしたのは2年前。半年ほど前からウッドデッキを掃除するモップが引っかかるようになり、デッキの経年変化に気づきました。そこで造園家の矢藤さんにお話をうかがいながら、ウッドフェンス&ウッドデッキのメンテナンスを実施しました。

モップの引っかかりが
メンテナンスのきっかけに

完成から1年半ほど経った頃、経年によって表面にささくれ立ってきたところがあり、モップが引っかかるようになりました。床面の色も、当初の白木の色からくすんだグレーへとゆっくり変化。それを見た川島さんは、「この先どうなっていくんだろう?」と不安を覚えました。孫たちが裸足で歩くデッキの床はオイル塗装のみ。そのためメンテナンスが必要なことは知っていましたが、具体的に何をしたらいいかわかりませんでした。そこで、施工をしてくれた造園家の矢藤さんに相談し、洗浄と再塗装を実施することにしました。



再塗装は表面をきれいに
洗浄してから

ウッドデッキの床板は、高圧洗浄をしてから自然素材のオイルを再塗装しました。ウッドフェンスは薬剤を注入したスギ材を使っているの、まだ塗装やメンテナンスは不要でしたが、色あせを防ぐために塗り直すことにしました。「フェンスはそのまま上塗りが可能です。デッキ床は塗る前に洗浄する必要があります。表面にこびりついたホコリや水垢が、腐食の原因になる菌の温床になるからです。広いデッキには高圧洗浄機が適していますが、普通サイズのデッキならデッキブラシでこすり洗いでも大丈夫です」と矢藤さんは説明します。



※ ハードウッドとは英語で広葉樹のことですが、イタウバ、ウリンなどの外国産の赤道付近に分布する広葉樹から作られるデッキ材等を指します。

毛羽立った部分はヤスリがけで滑らかに

洗浄後、表面が乾いたら毛羽立った部分にヤスリをかけて滑らかにします。「ハードウッド※なら20ミリのところ、ここでは45ミリの厚いヒノキ板のK4材を使っているの、10年以上はもつと思います」と矢藤さん。「私は、外材のハードウッドでも国産の針葉樹でも、だいたい10年で見直しが必要だと考えています。だったら柔らかくて素足が気持ち良い国産材の方をお勧めしています。表面が傷んだら、こうして手をかければ再生できるのが無垢材のいいところです。傷んだ場所があれば、その部分だけ新しい板に交換して全体の寿命を延ばせます」。

天然素材のオイルで
3歳の孫も塗装に挑戦

フェンスに2年前と同じ茶系の塗料を上塗りすると、たまち見えた目がリフレッシュ!クリア塗装だったデッキ床には、今回は自然な色の変化に合わせたグレーのオイルを塗ることに。天然素材が原料のオイルを用いて、お孫さんも床の塗装をお手伝い。「都会のマンション暮らしなので、実家では思い切り外で遊ばせ、土や緑に触れ合ってほしいです。変化していくものを手入れて使う、ものを大切にすることも育てたい」。



今後のウッドデッキ・ウッドフェンスの
メンテナンススケジュール

今後のメンテナンスについては、「ウッドデッキを長持ちさせるために、年に一度くらい、高圧洗浄かデッキブラシでの水洗いをお勧めします。オイルの塗り直しは、塗料メーカーが推奨している3年に一度くらいでいいでしょう。ウッドフェンスに関しては、色ムラが目立ってきたら塗る、というくらいでいいのではないのでしょうか。」とのことでした。



ウッドフェンス ウッドデッキの 美しさを保ち 長持ちさせるには

メンテナンスのすすめ

木材はもともと生きていた木を加工して得られる素材なので、屋外で長期間使い続けるにはメンテナンスが不可欠です。屋外での使用を前提とした木材（JAS規格K4やAQ1種などの防腐・防蟻剤を注入した加圧注入保存処理外構用の木材）でも、メンテナンスをすることでさらに外観を美しく保ち、長持ちさせることができます。

ウッドフェンスのメンテナンス

ここがチェックポイント

- ☑ 木口（木の切り口）やひび、割れは、水がしみ込みやすく腐朽しやすい部分です。
- ☑ 支柱が地面と接する部分や、木材同士の接合部に傷みは見られませんか。
- ☑ 塀の板が、土や砂ぼこり、苔などで汚れていませんか。

塗装をし直す

塗装を施してある塀の場合、長時間日光に照らされ、風雨にさらされると塗装面が劣化してきます。塗料は大きく分けてペンキのように塗膜を作って木材を保護する「造膜性塗料」とオイルステンのように木材の内部に浸み込む「浸透性塗料」があります。「造膜性塗料」の場合は、塗膜に割れが入ったり剥げ落ちてきたときに再塗装のタイミングです。塗り直す前に古い塗料の塗膜をきれいに剥ぎ取ります。「浸透性塗料」の場合は、色があせてきて、下地の木部が見えてきたら再塗装することをお勧めします。木口から水が浸透するのを抑えるため、木口を適切な被覆材や笠木などで保護するか、十分に塗装することをお勧めします。



風通しをよく

塀の前に植木鉢やプランターを長期間、同じ場所に置いておくと湿気や汚れがたまり腐朽の原因となります。ときどき場所を変えるなどして風通しをよくしておきましょう。



Column 1 木が腐朽する要因

木材が腐朽するのは、腐朽菌が繁殖し、木材を強固にしている木材成分を分解してしまうからです。腐朽菌が繁殖するためには、①水分、②栄養分、③温度、④空気の4つの要素がそろうことが必要です。木材に防腐・防蟻剤を注入することで腐朽菌が栄養源にできないようにし、水がたまり浸み込んだりしないようにすることで木材を腐朽から守り、長く使うことができます。

Column 2 木の色の変化

木は時間とともに色つやが変わっていきます。フェンスやデッキのように屋外で太陽の光や風雨にさらされていると、シルバーグレイの色調に変わっていきます。欧米では、このシルバーグレイの色調は落ち着いていると好まれます。時を重ねるとともに、違った表情を見せるのも木材の魅力の一つです。または、塗装によって変化を感じさせないように使うこともできます。



変化を楽しむ

塗装で色を楽しむ

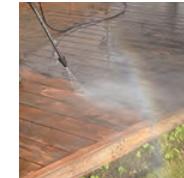
ウッドデッキのメンテナンス

ここがチェックポイント

- ☑ デッキの表面がササクれて、掃除をするときに引っかかりませんか。
- ☑ 土台が地面に接している場所や、デッキの下の雑草なども要注意。
- ☑ 塗装の色があせたり、塗膜が剥げ落ちたりしていませんか。

定期的に水洗い

デッキの表面にこびりついた土や砂ぼこり、水垢、落ち葉、苔などは放っておくと腐朽の原因になります。日頃からこまめに掃除しましょう。汚れが目立つようになったら、ブラシや雑巾などで水洗いしてください。高圧洗浄機があると広い面積のデッキでも作業が楽です。洗って汚れを落とす後は水気を拭き取り、乾かしましょう。年に一度ぐらいの頻度で、水洗いすることをお勧めします。



3年に一度は再塗装

デッキの塗装が色あせてきたり塗膜が剥げたりしてきたら、再塗装を実施しましょう。塗装していないデッキも、表面が毛羽立ってきたら保護塗料を塗ることをお勧めします。塗装をする前は水洗いで表面の汚れを落とし、十分乾燥させます。毛羽立った部分があれば電動サンダーなどで平滑にします。塗料は日本建築学会材料規格（JASS18）に適合した木材保護塗料が安心です。色はお好みで。デッキが設置してある環境や塗料の種類にもよりますが、3年に一度のぐらいの頻度で再塗装すると長持ちします。



メンテナンス前

メンテナンス後



宮崎 住宅 | 木の塀

有限会社 中西工務店



防腐処理等の種類・塗装・工法
柱部分はK4注入処理。その他部材はK3注入処理。

| PRポイント |

下からの目隠しと眺めを両立するために低めの木塀を設置しました。

スギ

宮崎 住宅 | 木の塀

株式会社 西尾組
<https://nishiogumi.co.jp/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
木の塀、ウッドデッキともにスギK4注入材を使用。無塗装。

| PRポイント |

植栽で目隠ししていた部分をすべて木の塀に。

スギ

三重 住宅 | 木の塀

あづま工務店
<https://koumuten-azuma.com/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
スギの赤身にモクポーを注入し、キシラデコールを塗布。

| PRポイント |

ウッドデッキから周りが見渡せる高さになりました。

スギ

静岡 住宅 | 木の塀

羽畑建設 株式会社



防腐処理等の種類・塗装・工法
ObiRED+AZN・ObiREDを使用。仕口部内部にまでキシラデコールを塗り施工。

| PRポイント |

すべてスギの赤身材のみを使用し、統一感と周辺環境と調和を保った。

スギ

和歌山 観光農園 | 木の塀

株式会社 榎本林業
<http://www.superlog8.com/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
雨にさらされても腐食しないようにAQ1種の防腐処理を実施。

| PRポイント |

暴風にも耐えられるよう、面材の間を空け風がすり抜けるようにデザイン。

スギ

熊本 住宅 | 木の塀

株式会社 出田建築工房
<https://ideta-kenchiku.jp/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
大引や塀の横桟には薬剤処理(JAS性能区分K3相当)をしたスギ材を使用。

| PRポイント |

スギの無垢材が持つ温かみを生かしたデザインとしました。

スギ

長野 住宅 | 木の塀

株式会社 Reborn
<https://reborn-nagano.co.jp/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
ObiREDにAZN乾式注入防腐・防蟻処理。

| PRポイント |

メンテナンス頻度を配慮し、ObiREDにAZN加圧注入した材を無塗装で使用。

スギ

兵庫 住宅 | 木の塀

株式会社 都建築
<https://www.miyako-kenchiku.co.jp/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
全体に木材保護塗料キシラデコールを塗布して仕上げ。

| PRポイント |

お家の雰囲気や周辺の景観とも調和が取れた、イメージ通りの仕上がりに。

スギ・ヒノキ

栃木 社屋 | 木の塀

株式会社 大和木材
<https://www.daiwa-mokuzai.com/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
直接雨にあたる笠木などの要所にはAQ1種の注入加工木材を使用。

| PRポイント |

外からは中が見えにくいようにしながらも、風は通るようにデザイン。

スギ

栃木 住宅 | 木の塀

株式会社 神山商店
<https://sugi-hinoki.com/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
角材に精度の高い穴を開け同径のヒノキの丸棒を差し込み串刺し状のパネルを木組。

| PRポイント |

フェンスを丸ごと防腐処理することにより、耐久性能を大きく向上。

ヒノキ

三重 駐車場 | 木の塀

株式会社 みずよし
<https://k-mizuyoshi.com/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
塀には飯肥杉を使用し、すべてドイツの自然健康塗料リボスを塗布。

| PRポイント |

天然だからその色合いの変化なども楽しんでもらえるようにしました。

スギ

滋賀 住宅 | 木の塀

有限会社 北和住宅
<http://hokuwa907.jp/>



防腐処理等の種類・塗装・工法
腐れ防止のため柱は防腐・防蟻性能があるK4処理剤を採用。

| PRポイント |

外観と同じ木材を使い、配色も合わせ木の塀と住宅に一体感をもたせました。

スギ

群馬 住宅 | ウッドデッキ

株式会社コバコ
https://www.kobako.jp/



防腐処理等の種類・塗装・工法
床部、幕板部の木材は木材保護塗料のノンロット205Nを重ねて塗布。

| PRポイント |

建築面積53坪におよぶ邸宅、庭に合わせてデザイン。

㊦ ヒノキ

熊本 住宅 | ウッドデッキ

柿工務店



防腐処理等の種類・塗装・工法
大引はエコアコルウッドを使用し天板は厚みのあるスギ板で赤身を使用。

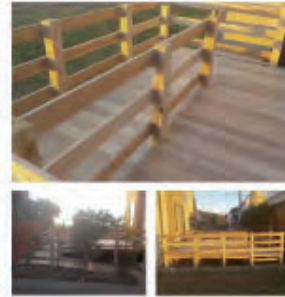
| PRポイント |

小さい子どもたちが裸足で走り回れるような広さです。

㊦ スギ

鳥根 住宅 | ウッドデッキ

さんもく工業株式会社 松江支店



防腐処理等の種類・塗装・工法
床組を、シンプルに組みました。支柱には厚みのあるスギ板で赤身を使用。根太を挟み、ボルトで固定。

| PRポイント |

塗装はあえてせずに自然の風合いを感じさせるウッドデッキ。

㊦ スギ

千葉 住宅 | ウッドデッキ

株式会社 矢藤園
https://yatoen.com/



防腐処理等の種類・塗装・工法
オスモ。3年に一度の塗り直しを予定。

| PRポイント |

50坪の敷地に、目隠しとしてのフェンスと人が集まるデッキスペースを施工。

㊦ スギ: ヒノキ

福島 住宅 | ウッドデッキ

株式会社 木村グリーンガーデナー
http://www.k-gg.jp/



防腐処理等の種類・塗装・工法
餌肥杉ObiRED、木口にエコロフェン塗布。

| PRポイント |

アウトドアキッチンとして使えるよう段差をなくすため、平滑な材を使用。

㊦ スギ: ヒノキ

宮城 住宅 | ウッドデッキ

宮城フォレストクラブ
http://www.m-wooddeck.com/



防腐処理等の種類・塗装・工法
ヒノキの防腐処理(K4)相当を使用。ニューボンデンDX塗布。

| PRポイント |

砂利を地面に敷き水はけを考慮。建物と庭全体に一体感を演出。

㊦ ヒノキ

愛知 施設 | ウッドデッキ

株式会社タイロンコーポレーション
http://tairon-corp.com/



防腐処理等の種類・塗装・工法
木材内部に薬液を浸透し、ACQ 加圧注入加工。

| PRポイント |

ゆっくりとくつろげるスペースと保護者様や会員様が観戦ができるよう設計。

㊦ スギ

熊本 住宅 | ウッドデッキ

株式会社 出田建築工房
https://ideta-kenchiku.jp/



防腐処理等の種類・塗装・工法
大引や椽の横桱には薬剤処理(JAS性能区分K3相当)をしたスギ材を使用。

| PRポイント |

スギの無垢材が持つ温かみを生かしたデザインとしました。

㊦ スギ

広島 住宅 | ウッドデッキ

大日本木材防腐(株)/ウッドデッキネット
http://wood-deck.net/



防腐処理等の種類・塗装・工法
すべてヒノキ・タナリスCY加圧注入。

| PRポイント |

明るめの塗装をすることで、全体に明るくいい感じに仕上がりました。

㊦ ヒノキ

神奈川 公園 | ウッドデッキ

伸和木材 株式会社
http://shinwamokuzai.co.jp/



防腐処理等の種類・塗装・工法
土台、束、大引、根太にヒノキ材(K4)を使用。キシラデコール塗装。

| PRポイント |

高低差をなくしたバリアフリーと景観を損なわないウッドデッキに。

㊦ ヒノキ: イベ

岡山 住宅 | ウッドデッキ

片山住建 株式会社
http://www.katayama-juken.co.jp/



防腐処理等の種類・塗装・工法
AQ1 種木材を使用。キシラデコール塗装(3回)。

| PRポイント |

デッキとパーゴラを一体化し、使いやすさとデザインを工夫。

㊦ ヒノキ

群馬 住宅 | ウッドデッキ

藤川建設 株式会社
http://www.fujikawa-kensetsu.com/



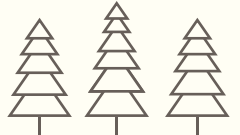
防腐処理等の種類・塗装・工法
餌肥杉の赤身(ObiRED)+AZNAQ 認証材。180角の基礎石とアルミ角材利用。

| PRポイント |

ウッドデッキとウッドフェンスとで調和の取れた温もりのある外観を実現。

㊦ カラマツ: スギ

Q & A



Q ウッドフェンス・デッキに木を使うメリットは？

A 木は金属やコンクリートに比べて軽くてやわらかいので、加工・補修がしやすく設置も容易です。見た目が自然で風景に調和し、木を使うことで森を育てることができ地球温暖化の抑制に貢献することができます。

Q DIYで簡単につくれますか？

A 木は加工しやすい素材ですが、フェンスやデッキを作るには、耐久性や安全性を確保するため木工に関するスキルや工具が必要です。構造や基礎づくりなどの知識も必要なので初心者には少々難しいかもしれません。DIYは自己責任になることに留意ください。

Q 塗料にはどんな種類がありますか？

A 塗料には、ペンキのように塗膜を作って内部を保護する「造膜性塗料」とオイルステインのように木材の内部に浸み込む「浸透性塗料」があります。それぞれ長所・短所がありますが、いずれも数年に一度は塗り直しが必要です。

Q 国産材のスギやヒノキを材料に使えますか？

A もちろん使えます。スギを使う場合は水に強い赤身(中心部分の赤い部分)が向いています。デッキにはヒノキが好まれますが、柔らかい感触のスギを好む方もいます。防腐剤を注入処理したり保護塗料を塗布するなど長持ちさせるための対策が必要です。

Q メンテナンスは必要ですか？

A フェンスやデッキは屋外で強い日差しや風雨にさらされているのでメンテナンスは不可欠です。日頃からこまめに掃除して、数年に1回は保護塗料を塗り直します。

Q 耐用年数はどれくらい？

A JAS規格K4、またはAQ1種の性能区分に対応した加圧式保存処理した木材を使用することで、腐朽や蟻害に対して20年以上の耐用年数が期待できるといわれていますが、設置場所やメンテナンスの頻度、樹種など条件によって変わります。
出展：木堀(もくべい)の手引き
(日本木材防腐工業組合)

Q 日頃のお手入れはどうしたらいいの？

A 木は木口(ごうち)木の横断面から傷むので、傷みが見えたら早めに保護塗料を塗ります。砂ぼこりや落ち葉はこまめに掃除し、湿気がこもらないように植木鉢やプランターはときどき場所を変え、風通しをよくしましょう。

Q 長持ちさせる秘訣はあるの？

A 木が劣化する原因のうち、太陽光や風雨に対しては屋外用の塗装を、腐朽菌やシロアリに対しては屋外用に適した防腐処理した木材K4やAQ1種等を使用することが有効です。

